

- 1 あきのたの かりほのいほの とまをあらみ わがころもでは つゆにぬれつつ
- 2 はるすぎて なつきにけらし しろたへの ころもほすてふ あまのかぐやま
- 3 あしびきの やまどりののをの しだりをの ながながしよを ひとりかもねむ
- 4 たごのうらに うちいでてみれば しろたへの ふじのたかねに ゆきはふりつつ
- 5 おくやまに もみぢふみわけ なくしかの こゑきくときぞ あきはかなしき
- 6 かささぎの わたせるはしに おくしもの しろきをみれば よぞふけにける
- 7 あまのはら ふりさけみれば かすがなる みかさのやまに いでしつきかも
- 8 わがいほは みやこのたつみ しかぞすむ よをうちやまと ひとはいふなり
- 9 はなのいろは うつりにけりな いたづらに わがみよにふる ながめせしまに
- 10 これやこの ゆくもかへるも わかれては するもしらぬも あふさかのせき
- 11 わたのはら やそしまかけて こぎいでぬと ひとにはつげよ あまのつりぶね
- 12 あまつかぜ くものかよひぢ ふきとぢよ をとめのすがた しばしとどめむ
- 13 つくばねの みねよりおつる みなのがは こひぞつもりて ふちとなりぬる
- 14 みちのくの しのぶもちずり たれゆゑに みだれそめにし われならなくに
- 15 きみがため はるののにいでて わかなつむ わがころもでに ゆきはふりつつ
- 16 たちわかれ いなばのやまの みねにおふる まつとしきかば いまかへりこむ
- 17 ちはやぶる かみよもきかず たつたがは からくれなるに みづくくるとは
- 18 すみのえの きしによるなみ よるさへや ゆめのかよひぢ ひとめよくらむ
- 19 なにはがた みじかきあしの ふしのまも あはでこのよを すぐしてよとや
- 20 わびぬれば いまはたおなじ なにはなる みをつくしても あはむとぞおもふ
- 21 いまこむと いひしばかりに ながつきの ありあけのつきを まちいでつるかな
- 22 ふくからに あきのくさきの しをるれば むべやまかぜを あらしといふらむ
- 23 つきみれば ちぢにもものこそ かなしけれ わがみひとつの あきにはあらねど
- 24 このたびは ぬさもとりあはず たむけやま もみぢのにしき かみのまにまに
- 25 なにしおはば あふさかやまの さねかづら ひとにしられで くるよしもがな
- 26 をぐらやま みねのもみぢば ころろあらば いまひとたびの みゆきまたなむ
- 27 みかのはら わきてながるる いづみがは いつみきとてか こひしかるらむ

- 28 やまぎとは ふゆぞさびしさ まさりける ひとめもくさも かれぬとおもへば
- 29 ころあてに をらばやをらむ はつしもの おきまどはせる しらぎくのはな
- 30 ありあけの つれなくみえし わかれより あかつきばかり うきものはなし
- 31 あさぼらけ ありあけのつきと みるまでに よしののさとに ふれるしらゆき
- 32 やまがはに かぜのかけたる しがらみは ながれもあへぬ もみぢなりけり
- 33 ひさかたの ひかりのどけき はるのひに しづごころなく はなのちるらむ
- 34 たれをかも するひとにせむ たかさごの まつもむかしの ともならなくに
- 35 ひとはいさ ころもしらず ふるさとは はなぞむかしの かににほひける
- 36 なつのよは まだよひながら あけぬるを くものいづこに つきやどるらむ
- 37 しらつゆに かぜのふきしく あきののは つらぬきとめぬ たまぞちりける
- 38 わすらるる みをばおもはず ちかひてし ひとのいのちの をしくもあるかな
- 39 あさぢふの をののしのはら しのぶれど あまりてなどか ひとのこひしき
- 40 しのぶれど いろにいでにけり わがこひは ものやおもふと ひとのとふまで
- 41 こひすてふ わがなはまだき たちにけり ひとしれずこそ おもひそめしか
- 42 ちぎりきな かたみにそでを しぼりつつ すゑのまつやま なみこさじとは
- 43 あひみての のちのころに くらぶれば むかしはものを おもはざりけり
- 44 あふことの たえてしなくは なかなかに ひとをもみをも うらみざらまし
- 45 あはれとも いふべき人は 思ほえて 身のいたづらに なりぬべきかな
- 46 ゆらのとを わたるふなびと かぢをたえ ゆくへもしらぬ こひのみちかな
- 47 やへむぐら しげれるやどの さびしきに ひとこそみえね あきはきにけり
- 48 かぜをいたみ いはうつなみの おのれのみ くだけてものを おもふころかな
- 49 みかきもり ゑじのたくひの よるはもえ ひるはきえつつ ものをこそおもへ
- 50 きみがため をしからざりし いのちさへ ながくもがなと おもひけるかな
- 51 かくとだに えやはいぶきの さしもぐさ さしもしらじな もゆるおもひを
- 52 あけぬれば くるるものとは しりながら なほうらめしき あさぼらけかな
- 53 なげきつつ ひとりぬるよの あくるまは いかにかはしき ものとかはしる
- 54 わすれじの ゆくすゑまでは かたければ けふをかぎりの いのちともがな

55 たきのおとは たえてひさしく なりぬれど なこそながれて なほきこえけれ
56 あらざらむ このよのほかの おもひでに いまひとたびの あふこともがな
57 めぐりあひて みしやそれとも わかぬまに くもがくれにし よはのつきかな
58 ありまやま ゐなのささはら かぜふけば いでそよひとを わすれやはする
59 やすらはで ねなましものを さよふけて かたぶくまでの つきをみしかな
60 おほえやま いくののみちの とほければ まだふみもみず あまのはしだて
61 いにしへの ならのみやこの やへぎくら けふこのへに にほひぬるかな
62 よをこめて とりのそらねは はかるとも よにあふさかの せきはゆるさじ
63 いまはただ おもひたえなむ とばかりを ひとづてならで いふよしもがな
64 あさぼらけ うぢのかはぎり たえだえに あらはれわたる せぜのあじろぎ
65 うらみわび ほさぬそでだに あるものを こひにくちなむ なこそをしけれ
66 もろともに あはれとおもへ やまぎくら はなよりほかに するひともなし
67 はるのよの ゆめばかりなる たまくらに かひなくたたむ なこそをしけれ
68 こころにも あらでうきよに ながらへば こひしかるべき よはのつきかな
69 あらしふく みむろのやまの もみぢばは たつたのかはの にしきなりけり
70 さびしさに やどをたちいでて ながむれば いづこもおなじ あきのゆふぐれ
71 ゆふされば かどたのいなば おとづれて あしのまるやに あきかぜぞふく
72 おとにきく たかしのはまの あだなみは かけじやそでの ぬれもこそすれ
73 たかさごの をのへのさくら さきにけり とやまのかすみ たたずもあらなむ
74 うかりける ひとをはつせの やまおろしよ はげしかれとは いのらぬものを
75 ちぎりおきし させもがつゆを いのちにて あはれことしの あきもいぬめり
76 わたのはら こぎいでてみれば ひさかたの くもゐにまがふ おきつしらなみ
77 せをはやみ いはにせかるる たきがはの われてもすゑに あはむとぞおもふ
78 あはぢしま かよふちどりの なくこゑに いくよねぎめぬ すまのせきもり
79 あきかぜに たなびくくもの たえまより もれいづるつきの かげのさやけさ
80 ながからむ こころもしらず くろかみの みだれてけさは ものをこそおもへ
81 ほととぎす なきつるかたを ながむれば ただありあけの つきぞのこれる

- 82 おもひわび さてもいのちは あるものを うきにたへぬは なみだなりけり
- 83 よのなかよ みちこそなけれ おもひいる やまのおくにも しかぞなくなる
- 84 ながらへば またこのごろや しのぼれむ うしとみしよぞ いまはこひしき
- 85 よもすから ものおもふころは あげやらで ねやのひまさへ つれなかりけり
- 86 なげけとて つきやはものを おもはする かこちがほなる わがなみだかな
- 87 むらさめの つゆもまだひぬ まきのはに きりたちのぼる あきのゆふぐれ
- 88 なにはえの あしのかりねの ひとよゆゑ みをつくしてや こひわたるべき
- 89 たまのをよ たえなばたえね ながらへば しのぶることの よわりもぞする
- 90 みせばやな をじまのあまの そでだにも ぬれにぞぬれし いろはかはらず
- 91 きりぎりす なくやしもよの さむしろに ころもかたしき ひとりかもねむ
- 92 わがそでは しほひにみえぬ おきのいしの ひとこそしらね かわくまもなし
- 93 よのなかは つねにもがもな なぎさこぐ あまのをぶねの つなでかなしも
- 94 みよしのの やまのあきかぜ さよふけて ふるさときむく ころもうつなり
- 95 おほけなく うきよのたみに おほふかな わがたつそまに すみぞめのそで
- 96 はなさそふ あらしのにはの ゆきならで ふりゆくものは わがみなりけり
- 97 こぬひとを まつほのうらの ゆふなぎに やくやもしほの みもこがれつつ
- 98 かぜそよぐ ならのをがはの ゆふぐれは みそぎぞなつの するしなりける
- 99 ひとつをし ひとつうらめし あぢきなく よをおもふゆゑに ものおもふみは
- 100 ももしきや ふるきのきばの しのぶにも なほあまりある むかしなりけり